



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただき、髄液および血液をご提供いただいたてんかんと診断された方、および特に疾患のない方（健常対照者）

【研究課題名】

バイオバンク試料を活用したてんかんに関連するバイオマーカーの研究

【研究責任者】

大竹健太郎（武田薬品工業株式会社）

【本研究の目的及び意義】

てんかんに関連すると考えられる分子（神経炎症にかかわる分子など）を脳脊髄液や血液で調べ、てんかんの分類や重症度との関連をみて、診断や治療薬開発の目印（バイオマーカー）の開発を目指します。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血清または血漿）、髄液

年齢、性別、診断名、病型、発作型、頻度、脳波情報など

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

承認後～2026年1月29日

【研究を開始する日】

2024年2月

【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)